

# 関西経済レポート(3月号)

- ➡ 1月関西の鉱工業生産は前月比2カ月連続の上昇。生産は緩やかな回復を続けている。
- ➡ 2月の輸出は前年比で2桁の上昇となった。一方、駆け込み需要の影響は弱まり、輸入の伸びは1桁にとどまった。結果、貿易収支は6カ月ぶりの黒字。
- ➡ 2月の消費者態度指数は3カ月連続のマイナスで2011年12月に次ぐ低水準。景気ウォッチャー先行き判断DIも大幅悪化、幅広い業種で消費増税後の懸念が広がる。
- ➡ 2月の大型小売店販売額は7カ月連続の前年比プラスと好調を維持。
- ➡ 2月の住宅着工は半年ぶりの前年比マイナスと駆け込み需要の反動が本格化している。
- ➡ 2月の有効求人倍率は1.00倍、5カ月連続の改善となったが、失業率は前月比横ばい。
- ➡ 1月の建設工事は堅調な増加。2月の公共工事受注額は3カ月ぶりの前年比マイナス。

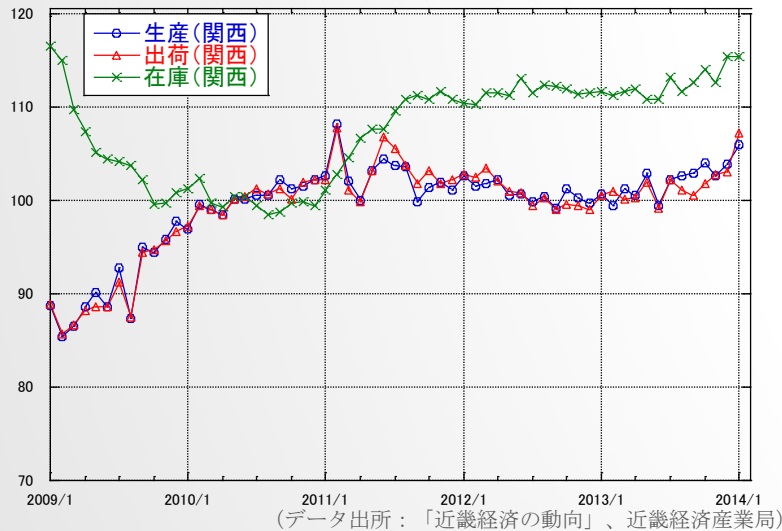
※「近畿」・「関西」は、滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山の2府4県。  
鉱工業生産、大型小売店販売額のみ、福井を含む2府5県。

## ～目次～

生産	1
輸出入	2
消費者センチメント	3
個人消費・住宅	4
雇用	5
公共投資	6

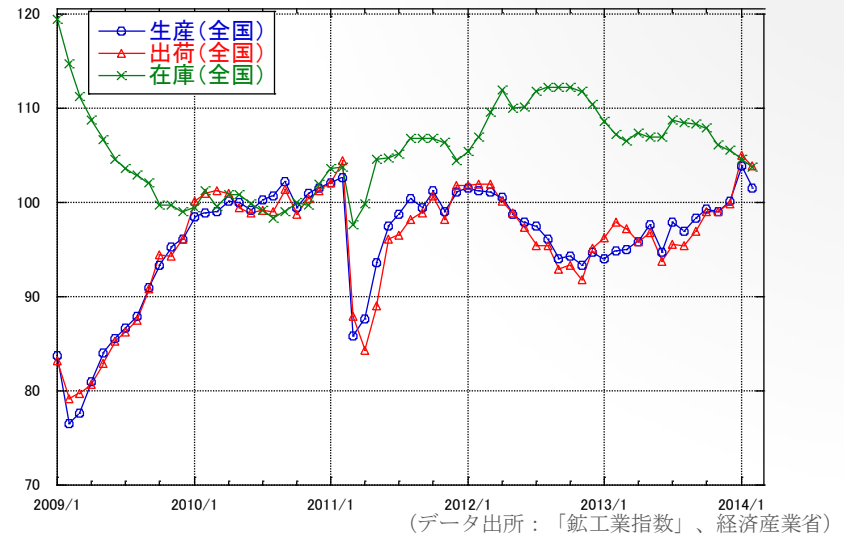
# ～生産～

鉱工業指数の推移(近畿・2014年1月まで), 2010年=100



- 関西における1月の鉱工業生産指数(確報値: 季節調整済)を見ると、生産は106.0で前月比+2.0%と2カ月連続の上昇。出荷は107.2で同+4.0%と4カ月連続の上昇。在庫は115.5で同横ばいとなっている。
- 業種別に生産指数をみると、はん用・生産用・業務用機械(同+5.4%)、電気機械(同+1.1%)、輸送機械(除. 鋼船・鉄道車両)(同+6.6%)等が上昇した。一方、その他(同-9.2%)、繊維(同-4.7%)、プラスチック製品(同-6.0%)等が低下した。
- 関西の生産は緩やかに回復を続けている。

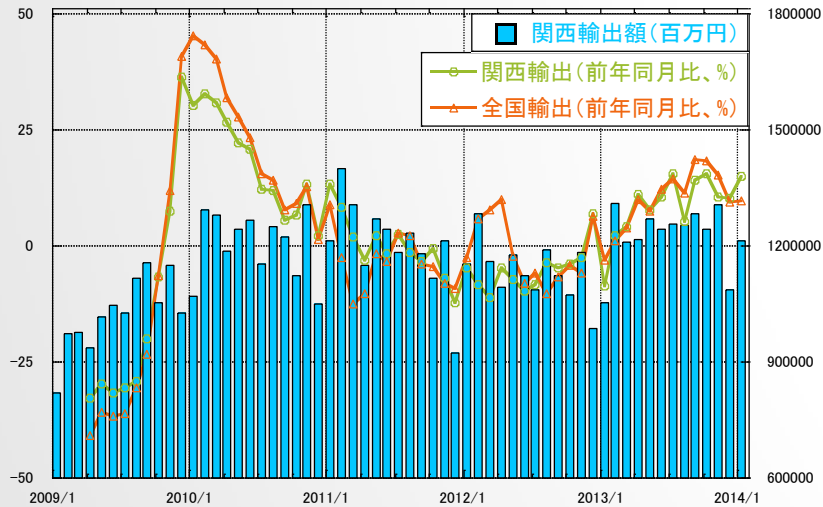
鉱工業指数の推移(全国・2014年2月まで), 2010年=100



- 全国における2月の鉱工業生産指数(速報値、季節調整済)は101.5となり前月比-2.3%と3カ月ぶりのマイナス。出荷は103.9で同-1.0%と6カ月ぶりの下落、在庫は103.8で同-0.8%と7カ月連続の減少。大雪による生産減の影響の他、駆け込み需要による生産・出荷増は一服したと考えられるが、1-2月平均は10-12月平均より+3.2%高い水準となっており、生産は緩やかな回復を続けている。
- 業種別にみると、輸送機械(同-5.8%)、はん用・生産用・業務用機械(同-3.3%)、情報通信機械(同-8.9%)等が下落。一方、電子部品・デバイス(同+1.5%)、化学工業(除. 医薬品: 同+0.5%)、繊維(同+1.8%)等が上昇。
- 生産予測調査によると、3月の製造工業は前月比+0.9%と増加も、4月は同-0.6%と減産の見込み。足下の生産減や、消費増税後を睨んだ生産減が想定されている。

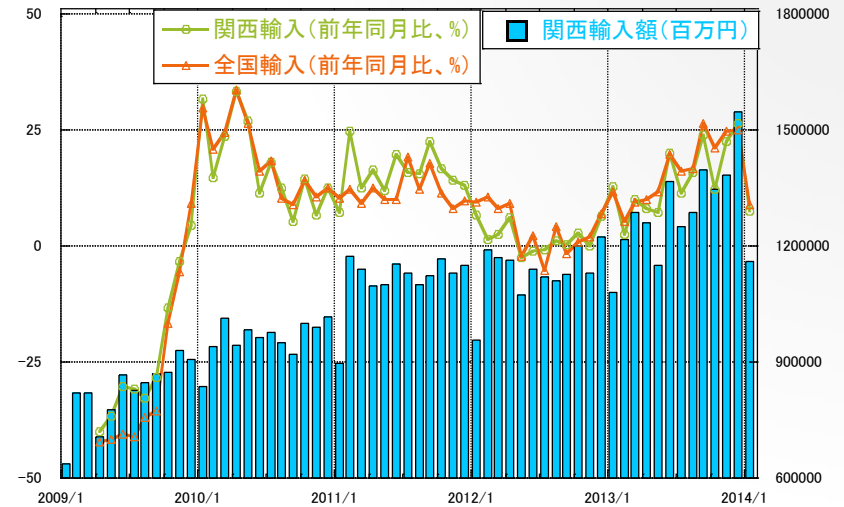
# ～輸出入～

輸出動向（右：輸出額、左：前年同月比）（2014年2月まで）



（データ出所：「大阪税関貿易速報資料：近畿圏」、大阪税関調査統計課）

輸入動向（右：輸出額、左：前年同月比）（2014年2月まで）



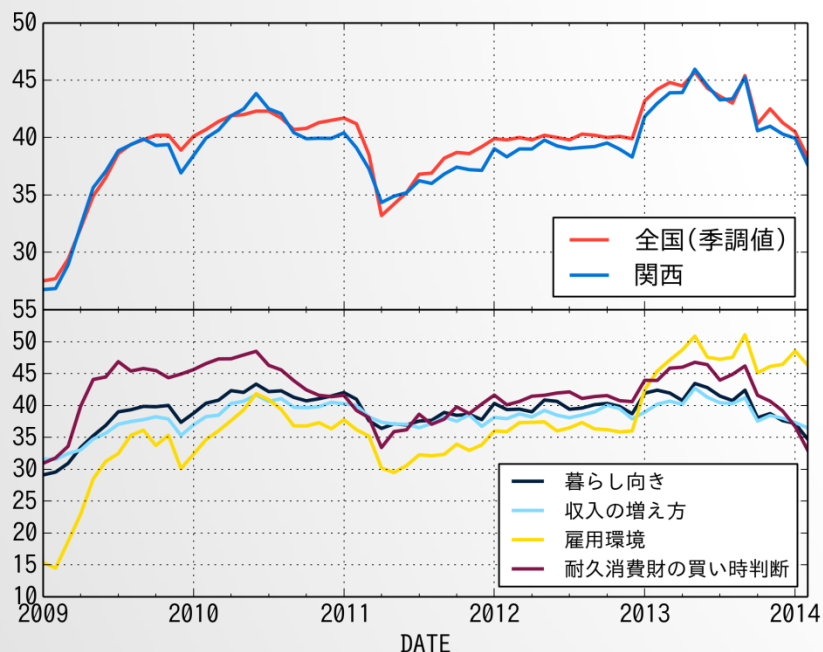
（データ出所：「財務省貿易統計」、財務省）

- 関西2月の2月の輸出額（速報値）は1兆2,126億円、前年同月比+15.0%と12カ月連続の増加。春節の影響が出た前月の伸び(+10.3%)からは幾分加速した。
- 輸出は、鉱物性燃料、科学光学機器、半導体等電子部品を中心に増加している。
- 全国2月の輸出額（確定値）は5兆7,993億円、前年同月比+9.8%と12カ月連続の増加。
- 関西の輸出を地域別に見ると、アジア（前年同月比+14.6%）、中国（同+25.9%）、米国（同+15.5%）、EU向け（同+9.2%）輸出はいずれも2桁近い増加となっている。

- 関西2月の輸入額（速報値）は1兆1,596億円、前年同月比+7.5%と14カ月連続のプラス。2013年12月から2014年1月にかけて20%以上の伸びを示していたが、駆け込み需要の影響も弱まり、2月は一桁の伸びとなった。
- 原油及び粗油、天然ガス及び製造ガス、半導体等電子部品を中心に、輸入は大幅に増加している。なお、これらはいずれも2月単月で過去最高の輸入額となった。一方で、衣類及び同付属品は前月までの伸び(前年同月比+27.2%)から一転、大幅な輸入減(同-19.2%)となった。
- 全国2月の輸入額（速報値）は6兆6,018億円、前年同月比+9.0%と16カ月連続の増加。
- 結果、関西の純輸出額は+530億円と6カ月ぶりの黒字、全国は-8,025億円と20カ月連続の赤字となり、赤字幅は8カ月連続で拡大している。

# ～消費者センチメント～

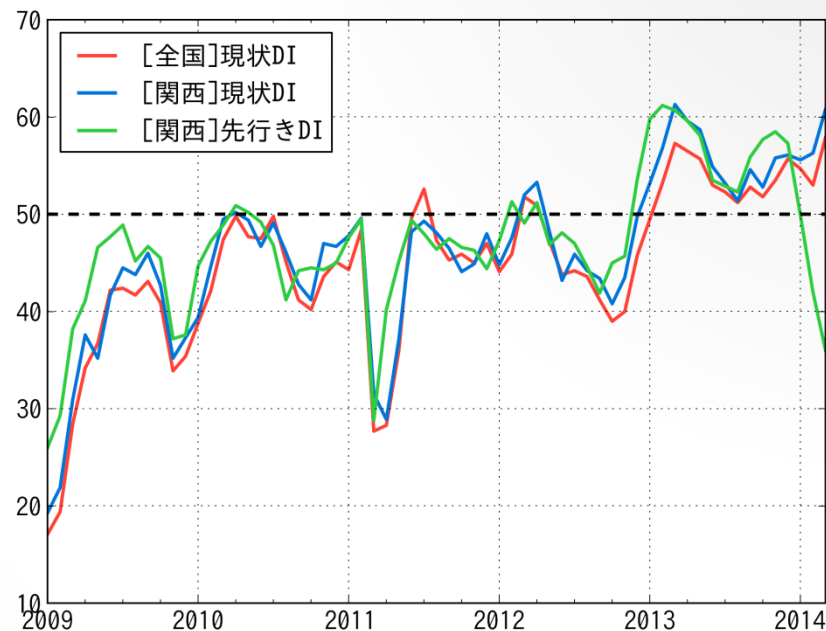
消費者態度指数(2014年2月まで)



(出所)内閣府「消費動向調査」(平成26年3月12日公表)

- 関西の2月の消費者態度指数(原数値)は前月比-2.2ポイント下落し37.7となった。3カ月連続のマイナス。2011年12月に次ぐ低水準となった。
- 同指数の構成項目をみると、4指標全てが前月から悪化した。「暮らし向き」が同-2.5ポイント、「収入の増え方」が同-0.8ポイントといずれも3カ月連続のマイナス。「耐久消費財の買い判断」は5カ月連続のマイナスとなり、同-3.7ポイントと落ち込みが大きい。「雇用環境」は同-2.2ポイントと4カ月ぶりにマイナスに転じたが高水準は維持している。
- なお全国の2月の消費者態度指数(季節調整値)は38.3となり、同-2.2ポイントと3カ月連続で前月から悪化している。2012年12月以来14カ月ぶりに40を下回った。

景気ウォッチャー調査(2014年3月まで)

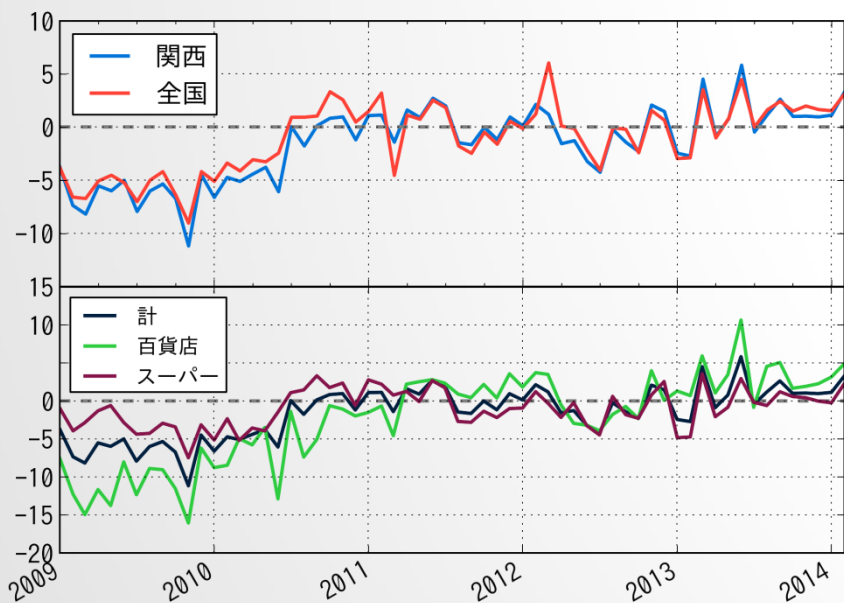


(出所)内閣府「景気ウォッチャー調査」(平成26年3月10日公表)

- 関西の3月の現状判断DIは前月比+4.5ポイントの60.8。乗用車の駆け込み需要が一服しつつあるものの、その他の品目についても駆け込みの動きが広がっていることから、2カ月連続の改善となった。
- 一方全国でも同様の動きがみられ、同+4.9ポイントの57.9と2カ月ぶりに改善している。
- 関西の先行き判断DIは同-6.0ポイントの36.0と、前月(同-7.9ポイント)から続いて悪化した。
- 全国の先行き判断DIも同-5.3ポイントの40.0となり、いずれも4カ月連続で悪化。
- 耐久消費財関連に限らず、幅広い業種で消費増税後の反動減の懸念が広がっている。

# ～個人消費・住宅～

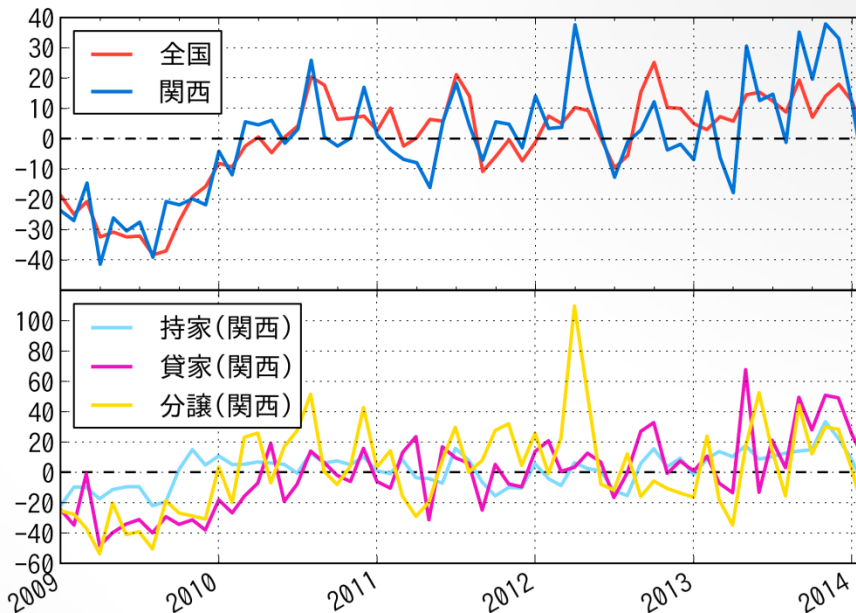
大型小売店販売額(前年同月比:%、2014年2月まで)



(注)福井県を含む。  
(出所)経済産業省「商業動態統計」(平成26年3月28日公表)

- 関西の2月の大型小売店(百貨店+スーパー)の販売額(全店ベース)は、前年同月比+3.3%と7カ月連続のプラス。
- 百貨店も同+5.0%と7カ月連続のプラス。
- スーパーは同+2.3%と3ヶ月ぶりのプラス。
- なお全国でも、2月の大型小売店販売額(全店ベース)は同+2.4%と7カ月連続のプラスとなっている。

新設住宅着工(前年同月比:%、2014年2月まで)



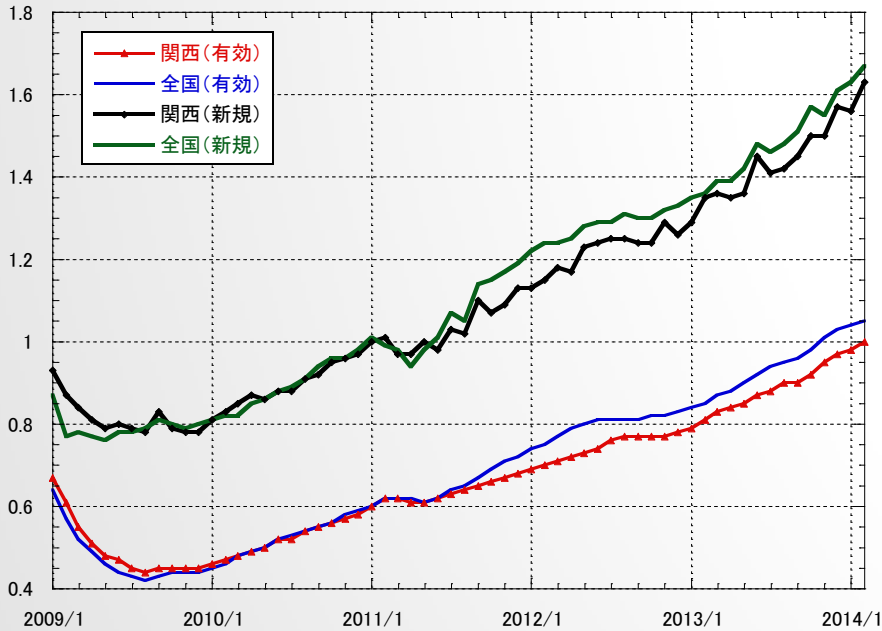
(出所): 国土交通省「住宅着工統計」(平成26年3月28日公表)

- 関西の2月の新設住宅着工戸数は9,592戸。前年同月比-13.3%と6カ月ぶりに下落し、駆け込み需要の反動が本格化している。
- 利用関係別にみると、持家は同-10.3%と13カ月ぶりのマイナス、分譲も同-31.0%と6カ月ぶりに大幅に下落した。一方貸家は同+7.3%と大幅に減速するも8カ月連続で前年比増が続いている。
- 全国の新設住宅着工戸数は18カ月連続の前年同月比プラスとなったものの、+1.0%の微増にとどまった。
- 一方、2月の関西マンション契約率(出所:不動産経済研究所)は80.6%(季節調整値、APIR推計)。マンション市場は完成在庫を中心に好調を維持している。



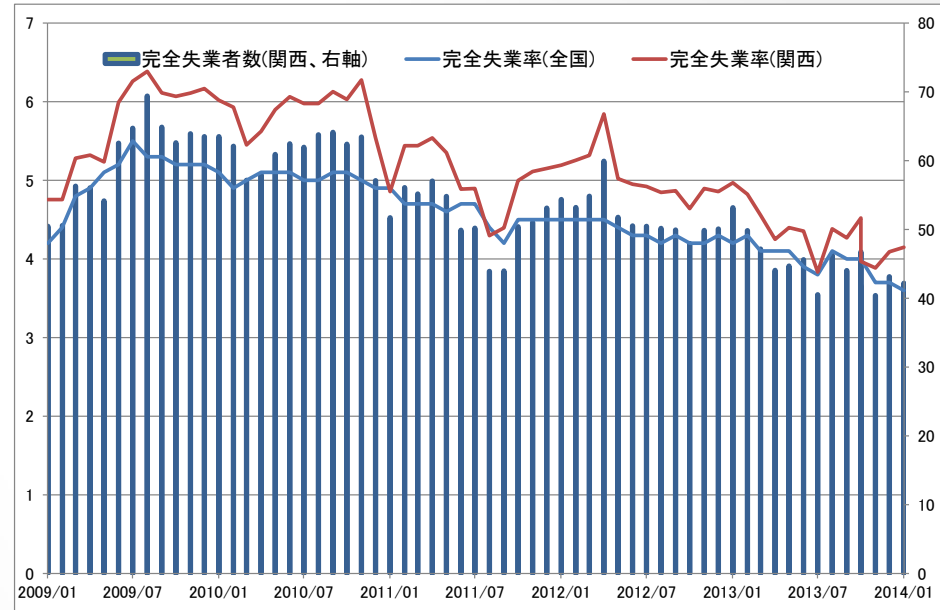
# ～雇用～

有効求人倍率の推移（季節調整値、2014年2月まで）



（出所）厚生労働省「一般職業紹介状況」（2014年3月28日公表）

完全失業率の推移（季節調整値：％、2014年2月まで）



（出所）総務省「労働力調査」（2014年3月28日公表）

関西2府4県有効求人倍率(2014年2月)

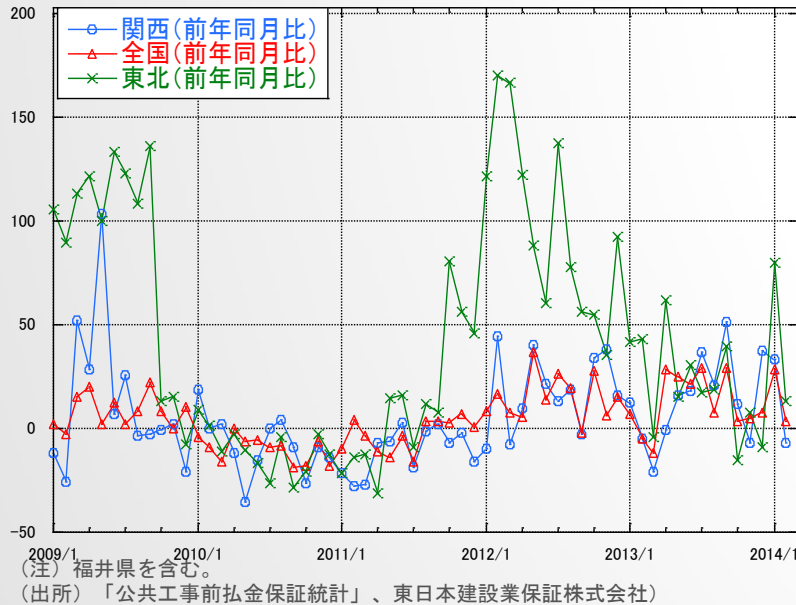
	全国	関西	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県
2月	1.04	0.98	0.93	0.97	1.09	0.83	0.92	0.94
1月	1.05	1.00	0.94	0.98	1.10	0.86	0.93	0.94

- 2月の関西の有効求人倍率は1.00倍、前月から0.02ポイントの上昇。5カ月連続の改善となった。
- 全国は1.05倍で、前月から0.01ポイント上昇。2011年5月から前月比で33カ月連続の上昇となった。
- 2月の新規求人倍率は、関西は1.63倍と前月より0.07ポイント増加。全国は1.67倍と同0.04ポイントの増加となった。
- 関西の有効求人倍率を府県別に見ると、大阪府は全国平均を上回り1.10となった。その他の府県は全国平均を下回った。

- 2月の関西の完全失業率（季節調整値：APIR推計）は4.1%となり、前月と横ばいであった。
- 全国の完全失業率（季節調整値）は3.6%となり、前月から0.1ポイント低下している。
- 関西の完全失業者数(季節調整値：APIR推計)は42.2万人。前月から1.0万人減少した。

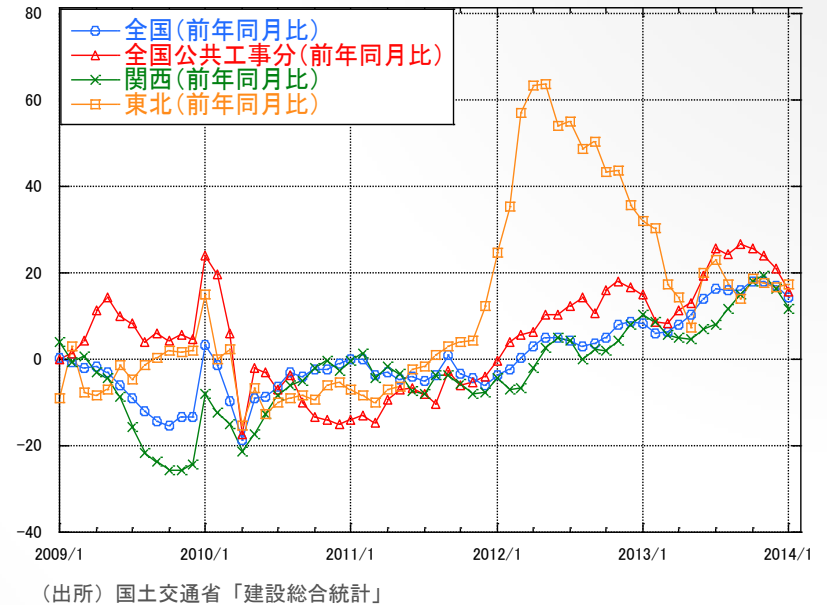
# ～公共投資～

公共工事請負額(前年同月比:%、2014年2月まで)



- 関西2月の公共工事請負金額は789億円。前年同月比-6.8%と3カ月ぶりのマイナス。
- 全国は6,959億円と同+3.7%と11カ月連続のプラス。
- 東北は1,484億円で同+13.5%と、2カ月連続のプラス。
- 季節調整値(APIR推計)で見ると、関西は2カ月ぶりのマイナス(関西：前月比-21.9%)、全国は3カ月ぶりのマイナス(全国：同-19.2%)となった。

建設工事(前年同月比:%、2014年1月まで)



- 関西における1月の建設工事は5,927億円。前年同月比+11.6%と21カ月連続のプラス。
- 東北は5,378億円と同+17.3%となった。30カ月連続のプラス。
- 全国の建設工事は4兆6,721億円となり、同+14.3%と23カ月連続のプラス。
- 全国の建設工事(公共)は2兆1,115億円、同+15.7%と24カ月連続のプラス。いずれの地域も、建設工事の伸びは堅調に推移している。